

記入例

農地法第4条の規定による許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

世羅町農業委員会会長 様

申請者 住所 世羅郡世羅町大字西上原 123 番地
氏名 世羅 太郎
(名称)

次によって農地を耕作以外の目的に供したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

1 許可を受けようとする土地の状況等

世羅郡世羅町

土地の所在	地番	地目		面積 (㎡)	耕作者氏名	市街化区域・市街化調整 区域・その他区域の別
		登記簿	現況			
大字〇〇 字〇〇	100 番 1	田	田	80	世羅 太郎	その他の区域
以下余白						
計	80	㎡	(田 1 筆	80	㎡, 畑	筆

2 転用目的等

用途	墓地(〇墓) (又は自己住宅及び駐車場、駐車場(〇〇用・〇〇台)、農地改良(一時転用)、 倉庫(〇〇用)、太陽光発電設備など)				
工事計画	着工 令和〇年〇月〇日 完成 令和×年×月×日 (又は 着工 許可あり次第 完成 許可後1年以内 など)				
	名称	棟数等	建築面積等(㎡)	所要面積(㎡)	備考
土地造成				100	併用地 雑種地 20 ㎡
建築物, 工作物その他	墓石、石碑、灯籠		1基、1基、2基		

2部提出

3 転用の事由等

転用を必要とする理由	《基地の場合》 現在の基地が山の中にあり、管理が困難であるため、宅地の近くにある農地に移転する。 《住宅及び駐車場の場合》 現在の住宅は老朽化し、建替えが必要となっている。近く、長男が帰郷して同居するので、現在の住宅を解体し、申請地に新たな住宅及び駐車場を建築する。 ※ 上記例のほか、次の事項等を具体的に記入する。 《資材置場の場合》 現在の資材置場の利用状況、新たに資材置場を必要とする理由、新たな資材置場に置く資材等の種類、数量等など 《一時転用の場合》 一時転用が必要な理由、その利用方法、一時転用の期間(復元期間を含む)、復元方法、復元後の利用計画など
	事業又は施設の操業又は利用期間

4 事業の資金計画

(単位：円)

必要経費		資金調達計画	
土地造成費	150,000	自己資金	2,650,000
建築費		借入資金	
その他	2,500,000	その他	
計	2,650,000	計	2,650,000

5 転用することによって生ずる付近の農地、作物等に対する被害の防除施設の概要
別紙計画書のとおり

6 その他参考となるべき事項

(1) 関連法令の許認可手続きの状況 (必要な箇所に○をすること。)

農業振興地域の整備に関する法律	手続中	手続済	手続不要
都市計画法	申請中	未申請	申請不要
宅地造成及び特定盛土等規制法	申請中	未申請	申請不要
その他(法律名を記入)	申請中	未申請	申請不要
墓地埋葬法に関する法律			

(2) その他(法令(条例を含む。)で義務付けられている行政庁との事前協議が必要であれば、その状況)

この申請に関する照会に応答する者の連絡先の住所、氏名及び電話番号

住所	〒722-1121 世羅郡世羅町大字西上原 123 番地	氏名	世羅 太郎
電話番号	(0847) 22 - 5301	自宅	勤務先(名称)

(注) 1 「自宅 勤務先」は、いずれかに○をすること。

2 照会に応答する者が法人の場合、「氏名」に担当者名を、「名称」に法人の名称を記載すること。

1 部提出